



えがお いっぱい

令和6年9月26日
富士市立富士南小学校
学校だより 10月号

小中一貫教育目標 「やさしく いきる」
重点目標 「あいさつがいっぱい えがおもいっぱい」

8月・9月・10月の生活目標 「すすんで行動しよう」

「暑さ寒さも彼岸まで…」という言葉がありますが、9月のお彼岸を過ぎた頃から暑さも少し和らいだように感じます。10月に入ります。10月は、神無月（かんなづき）とも言われます。しかし、全国の神が集まる出雲の国（島根県）では「神在月（かみありつき）」と呼ぶ風習があるようです。他にも、10月は、「小春月（こはるづき）」「初霜月（はつしもづき）」という異名があります。「小春」とは、本格的に寒くなってくる前の、よく晴れた穏やかな暖かい日のことですが、「初霜」と重ねて考えると10月の内に季節が移り変わることが見て取れます。

さて、富士南小学校も、前期と後期の折り返しを迎えます。前期の振り返りやまとめをして後期につなげ、更なる小中一貫教育目標「やさしく いきる」、重点目標「あいさつがいっぱい えがおもいっぱい」の育成に尽力したいと考えております。「実りの秋」「収穫の秋」になりますよう、御家庭でも、お子さんの見取りや見届けをよろしくお願いいたします。



◇夢、憧れを育むために…◇

6年生が、総合的な学習の時間「お仕事相談センター」（キャリア教育）の一環として、「まちの遊民社」（一般社団法人）の協力を得て、第1回職業講話を受講しました。講師は、獣医、会社経営者、リサイクル業、市役所職員、エクステリアプランナー、ファッションデザイナー、建築設計士、パティシエでした。多彩な職種及び専門家として活躍する皆様からの具体的なお話に、子供たちは、目を輝かせ聞き入っていました。会社経営者の方は、「今日からあなたは経営者です。あなたは社長です。何をしたいですか?」と子供たちに投げ掛けていました。「大事にすべきは目的です。」「こんなモノを作りたい。こんなサービスをしたい。こんな仕事をしたい。～これは手段であって目的ではない。」「目的は、その手段を通して、お客さんや社会がどうなってほしいのかを考えることです。」という話をされていました。また、パティシエの方は、「人は、なぜ働くの?」と子供たちに問い掛けていました。これまでの失敗やそれを克服するために努力を重ねてきたこと、そして、自分のお店をもつことができたことを伝え、「人は、楽しく生きるために働くのだと思う。」と話を結んでいました。すべての講師の皆様が、「自分の仕事に誇りをもっていること」「目標や夢をもって大変なことを乗り越えてきたこと」「充実感や達成感を味わいながら仕事に取り組んでいること」などを子供たちは、感じ取ったことと思います。そして、「今、自分たちがやっていることが将来につながる」と受け止めた子も多くいたのではないのでしょうか。

子供たちは、社会とつながっています。また、子供たちの健やかな成長のためには、社会とのつながりの中でその夢や憧れを育むことが大切だと考えます。コミュニティ・スクールを展開している本校ですので、子供たちの夢や憧れを実現するために、学校や家庭、地域における“今”を大切にできる子供たちをともに育んでいきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

